

ブラジル年金改革は上院の最終承認を受けて成立へ

- ブラジルの上院は年金改革法案を最終承認。約8ヵ月間の議会審議が終了し、年金改革法案は11月にも施行へ。
- 年金改革の規模は8,003億リアルを維持。市場は上院の最終承認を好感し、ボベスパ指数は史上最高値を更新。
- 年金改革の成立はボルソナロ政権の経済改革の入り口。政府は次なる財政健全化策として行政改革に着手へ。
- 今後は大規模油田入札や国営電力公社の民営化も焦点。ブラジル中銀は年末まで合計1.00%の利下げ実施へ。

上院議会は年金改革法案を最終承認

ブラジルの上院議会は10月22日、年金改革法案の最終審議に当たる2回目の投票を実施し、賛成60票：反対19票の賛成多数で基本法案が承認されました(図1)。

ボルソナロ政権が2月20日に年金改革法案を提出してから、下院・上院での約8ヵ月間の議会審議が終了し、年金改革法案は11月19日までに施行される見込みです。

年金改革の規模は8,000億リアルの大台を維持

また、年金改革の基本法案の承認後、10月23日にかけて行われた年金改革の修正提案の審議では、野党・労働者党(PT)からの一部提案受け入れが合意されたものの、年金改革の規模(10年間の財政改善効果)は8,003億リアルの大台の水準が維持されました(図2)。

年金改革審議の過程では、議会からの譲歩圧力から改革規模は当初提案の1兆2,365億リアルから縮小を迫られたものの、8,000億リアル台での年金改革法案の最終承認は市場からも概ね好感され、主要株価指数のボベスパ指数は史上最高値を更新しました(図3)。

年金改革はボルソナロ政権の経済改革の入り口

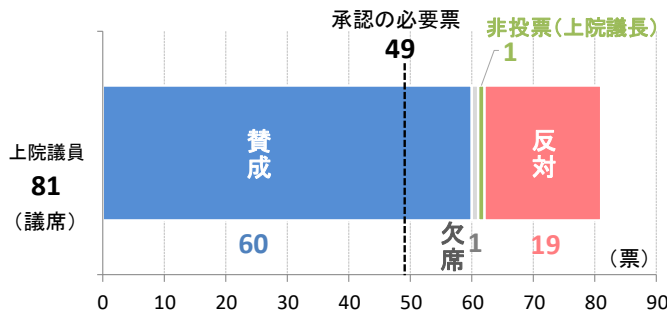
中長期的な財政健全化に不可欠である年金改革の成立はボルソナロ政権の経済改革の入り口と考えられ、今後は次に挙げる3つの政策の推進が期待されます。

第一に、公務員給与抑制を図る行政改革です。公務員給与・手当は中央政府の歳出の2割強を占め、年金支出に続いて財政をひっ迫させる構造問題となっています。

第二に、民営化政策の推進です。11月6日には注目度が高い大規模油田入札が予定されているほか、2020年に向けては国営電力公社の民営化が焦点となりそうです。

第三に、財政健全化の進展からブラジル中銀による追加利下げが見込まれます。市場では、年末の政策金利(現行:5.50%)は4.50%へ低下するとの見方が大勢です。

図1: 上院議会での年金改革基本法案の投票結果



(出所)ブラジル上院議会 (注)上院2回目投票の結果。

図2: ブラジルの年金改革法案の財政改善効果

時期	年金改革案	10年間の財政改善効果(億リアル)
4月25日公表	ボルソナロ政権の年金改革提案	12,365
8月7日承認	下院本会議承認(2回目投票)の年金改革法案	9,335
10月1日承認	上院本会議承認(1回目投票)の年金改革法案	8,003
10月22日最終承認	上院本会議承認(2回目投票)の年金改革法案	8,003

(出所)各種報道

図3: 年金改革審議の進展とブラジル・ボベスパ指数



(出所)ブルームバーグ (期間)2018年1月2日~2019年10月23日

●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。